

## 平成 23 年度 公益活動事業補助金事業評価

平成 23 年度公益活動事業補助金に係る事業評価を、事業報告会及び事業報告書に基づき実施したので、別紙のとおり報告します。

平成 25 年 2 月 19 日

北広島市市民協働推進会議

会 長 中 林



## 平成23年度公益活動事業補助金実績評価

団 体 名	特定非営利活動法人 北広島森林ボランティア・メイプル		
事 業 名	北の里山づくり事業		
事 業 費	147,248円	補助金額	72,000円
申 請 内 容	<p>北広島団地に隣接する富ヶ岡市有林は、起伏もあり森林浴など自然との係わりを日常生活に取り入れやすく、市民の健康増進に寄与できる条件にあることから、市民が利用できる「緑の拠点」となるよう整備を行うため、林班内を測量し樹林の配置や散策路整備について計画案を作成する。また、市有林が市民が自然に触れ合う場となるよう、危険木の除去や無立木地への植樹等を行う。</p>		
事業実績及び今後の事業展開	<p><b>【事業実績】</b>                  ①市有林(富ヶ岡899番地)の測量を行い、施業現況の測量図を作成                  ②富ヶ岡574番地にフジザクラを94本(2条植栽)植栽するとともに「緑陽中学校植栽地」及び「その他植栽地」の草刈りを実施                  ③駐車場予定地及び73林班の境界石探索を実施  <b>【今後の事業展開】</b>                  富ヶ岡の森の植林活動は平成24年度の活動をもってほぼ完了したことから、今後は育林を継続しながら緑の活動拠点として「森林学習の場」「森林ガイド活動」に見合う整備事業を進めていく。</p>		
協働推進会議委員による評価	<p><b>【事業効果について】</b>                  ・市有林の測量、裸地への植栽、市民を対象とした講習会の実施など、申請内容に合致した活動が実施されており、24年度以降の団体の活動をスムーズに行うための足固めが出来たものと評価する。また、講習会の実施により森林保護に携わる人材の育成が推進されたとともに、「育てる」社会教育の場の整備に寄与する事業であったと評価できる。                  ・今後については、講習会等への一般市民の参加が更に増えるよう、広報活動等を広く積極的に行っていくことを期待する。  <b>【効率性の追求について】</b>                  ・事務費、消耗品費については縮減可能な部分も見受けられるが、現況測量を外注せずに会員自らの手により測量を実施するなど、事業実施にあたって効率性を追求する姿勢が見られることから概ね評価できる。  <b>【今後の団体活動への寄与について】</b>                  ・「森林施業講習」に会員2名を派遣し当該課程を修めるなど、今後の団体の自立的な発展への意気込みが感じられた。また、当該事業の実施を通して、行政のパートナーとして事業を実施できるレベルに近づいたと認められることから、団体の自立的な発展を促す有益な事業補助であったと評価できる。</p>		
協働推進会議総合評価	<p>当該事業については、公益性が高い事業であり、市が第5次総合計画で掲げている、めざす都市像「成長都市：緑を大切に、着実に成長しつづけるまち」にも繋がる事業であると評価する。また、事業報告の内容等から、今後も市有林等を長期的に保全・整備していくとする意欲が強く感じられた。                  団体としては、行政と協働で環境保全や森林の有効活用を推進する事業を遂行できるレベルに成長しつつあることから、今後「協働事業提案制度」などを活用した新たな事業展開も期待できる。</p>		

## 平成23年度公益活動事業補助金実績評価

団 体 名	子育て支援ワーカーズ ほっとまむ		
事 業 名	北広島に必要な「子育て支援メニュー」を探る事業		
事 業 費	332,983円	補助金額	113,000円
申 請 内 容	北広島市に必要な子育て支援メニューを探究することを目的に、子育て支援イベント「みんなのはっぴいたいむ」「ママのはっぴいたいむ」、つどいの広場「ひろばDEはっぴいたいむ」を企画・開催するとともに「産後サポート事業」を試験的に実施する。		
事業実績及び今後の事業展開	<p>【事業実績】</p> <p>①「みんなのはっぴいたいむ」4回開催 延べ71名参加          ②「ママのはっぴいたいむ」1回開催 27名参加          ③「ひろばDEはっぴいたいむ」2回開催 延べ35名参加          ④「産後サポート事業」登録利用家庭4家庭 サポート回数6回          ⑤チラシについては、個別ポスティング配布を行いイベントの紹介・PRに努めた。</p> <p>【今後の事業展開】</p> <p>今後については、参加者の声、参加者アンケート等から得られた様々なニーズの中から、団体として取り組める支援メニューを検討し、事業に反映させていく。また、地域の中で活動する仲間を増やし「見守り力」をつけていきたいと考えている。</p>		
協働推進会議委員による評価	<p>【事業効果について】</p> <p>・実施された事業は、子育てを支援する事業として有益な事業であったと評価できる。また、当初予定していた「産後サポート事業」を「産前・産後サポート」に拡大するなど、利用者数確保や満足度アップにも工夫が見られた。</p> <p>・当該事業の目的は「北広島に必要な子育て支援メニューを探る」ことであることから、利用者数実績等を見る限り、事業費に見合った成果（データ収集）が得られたかについては若干疑問が残る。実績報告の際に詳細なアンケート結果及び分析結果の提示がなく評価が難しかった。</p> <p>【効率性の追求について】</p> <p>・「ふれて」や「事業所内保育所であった空き施設」を会場にするなど、施設使用料の縮減に工夫が見られた。</p> <p>・「新聞折込み料」「チラシ紙代」「チラシ印刷費」の事業費総体に占める割合が高く、PR・周知方法に改善の余地があると感じられた。</p> <p>【今後の団体活動への寄与について】</p> <p>・事業の実施にあたり、補助金額を大きく上回る自己資金を拠出しており、自立した活動を目指す意欲が感じられる。</p> <p>・少子化を食い止めるという行政のニーズに合致した事業を実施している当該団体が、将来に亘って意欲的に活動を続けていくための見通しを立てる（ニーズを把握する）ことに当該補助金が活用されており、団体の自立的な発展を促す有益な事業補助であったと評価できる。</p>		
協働推進会議総合評価	<p>核家族化の進展や地域の繋がりの希薄化などにより、子育てをするにあたっては交流の場の確保や子育てに対するサポート支援は必要であり、特に当該団体が実施した産後サポートについては、行政サービスや既存のシステムではカバーしきれない領域であることから、そこに光を当てた今回の当該団体の子育て支援事業は、有益性が高い事業であると評価できる。</p> <p>今後は利用件数の増加に繋がるPR方法等について更に検討を加えるとともに、より一層地域に根差した子育て支援事業の展開に期待する。</p>		

## 平成23年度公益活動事業補助金実績評価

団 体 名	特定非営利活動法人 北広島ITネットワーク		
事 業 名	インターネットTVを使った北広島市のPR		
事 業 費	86,964円	補助金額	43,000円
申 請 内 容	<p>北広島にはケーブルテレビなど「文字+動画+音声」による地域情報の発信がなく、地域情報の発信には、多数の市民ディレクターの活動が必要不可欠であることから、地域の特色を映像で表現し、「インターネットTV」を通して情報を発信することができる市民ディレクターの養成を行う。</p> <p>また、試験的にインターネットTVへ映像をアップする。</p>		
事業実績及び今後の事業展開	<p><b>【事業実績】</b></p> <p>①市民ディレクターを養成するため、他市インターネットTV設立・運営経験者及び22年度養成市民ディレクターを講師に各種講習会を実施</p> <p>②団地内小学校統廃合に係る各種行事を撮影し、記録用映像を制作</p> <p>③インターネットTV(試験放送)に4作品をアップ アクセス件数合計:約12,500件</p> <p><b>【今後の事業展開】</b></p> <p>「きたひろTV」の映像制作・運営に係る人材育成と基盤づくりは概ね完了したところであるが、今後についても市民ディレクターの拡大を図り、市民の手による市民のための映像作りを継続して実施していきたいと考えている。</p>		
協働推進会議委員による評価	<p><b>【事業効果について】</b></p> <p>・現在「きたひろTV」へのアクセス件数が月1万件を超えており、放送に対する視聴者からの声も概ね好評とのことであり、一定の成果を出していると評価できる。また、放送作品には、記録保存価値のあるものが見受けられるとともに、ホームページの他に「YouTube」を使って配信を行っており、世界に向けて北広島市の情報が配信されるなど、補助金の額に比して十分効果があったと評価できる。</p> <p><b>【効率性の追求について】</b></p> <p>・不測の事態による講師不在にあたっては「22年度養成市民ディレクター」によるOJTに切り替えて実践講習による当初目標の達成に努めるとともに、消耗品等の購入を極力抑え経費の縮減を図るなど評価できる。</p> <p><b>【今後の団体活動への寄与について】</b></p> <p>・2年間に亘る事業補助によって市民ディレクターを養成し、実際に番組を制作するまでに至った実績等により、自立した団体に成長したと認められることから、団体の自立的な発展を促す有益な事業補助であったと評価できる。</p>		
協働推進会議総合評価	<p>当該事業補助の活用により養成した市民ディレクターによって制作された「きたひろTV」の本放送が、市との協働事業で平成24年6月からスタートし、行政の対等なパートナーとして自立した活動を行っていることは評価できる。また、「撮影時のチラシの配布」「市広報への掲載」「撮影使用車両にきたひろTVのロゴを貼る」など、独自のPR活動にも積極的に取り組んでおり、自立への意欲が感じられる。</p> <p>今後は、編集素材を広く市民に求めるなどの工夫を重ねることによって、団体としての活動が更に発展することを期待する。</p>		